

目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間を認め合い、絆を深めながら楽しく学べる学校</li> <li>家庭や地域と連携し、豊かな体験を通して児童生徒一人一人が自ら学べる学校</li> <li>共生社会の実現を目指し、地域のセンターとしての役割を果たす学校</li> </ul>
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>児童生徒が、主体的に学習に取り組む力を育む専門性の高い授業の実践</li> <li>保護者、地域に信頼される開かれた学校づくりの推進</li> <li>児童生徒が安心して学校生活を送るための学習環境及び施設設備の充実</li> </ol>
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者 学校関係者 名
生徒 名
事務局(教職員) 名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )			実 施 日 令 和 年 月 日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自立活動について、職員研修や自立活動専任の配置等を行い、学校全体に自立活動を下支えとした授業改善が行われるようになってきている。さらに学習指導要領における教科の目標を意識した授業を実践していくことが必要である。</li> <li>○ 学校全体で学習のつながりを、見直すことで、年間指導計画における目標や手立てをより明確にし、個別の教育支援プランの作成につなげ、きめ細かな指導実践を行う必要がある。</li> <li>○ 外部専門家と連携し、さらに教員の指導力向上につなげるとともに、自立活動における指導実践の積み上げを行う必要がある。</li> </ul>	○児童生徒が主体的な学習に取り組める指導を展開し、評価する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 「国語」「算数・数学」においてねらいと到達点を明確にした授業略案を作成し、授業参観等で公開授業を行う。</li> <li>② 全校研修のテーマとし、教員間で縦割りのグループ編成を行い、学部を越えた実践報告や授業づくりについて意見交換し児童生徒の学びの過程について理解を深める。</li> <li>③ 外部専門家の指導助言を校内で共通し、自立活動の実践において6分野を意識した授業実践を行い実践例を収集する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 各学部学年において、「国語」または、「算数・数学」の授業公開を行うことができたか。また、評価において児童生徒の変容を意識した授業略案を作成することができたか。</li> <li>② 年間7回の全体研修を計画的に行い、自立活動、教科指導について学部を越えた意見交換を行うことができたか、また、12年間の系統性を意識した指導内容の検討につなげることができたか。</li> <li>③ 自立活動において、教員一人一事例の授業を実践し、実践例を年間100事例以上収集し、6区分ごとにまとめることができたか。</li> </ol>				
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校運営協議会（コミュニティスクール）をとおして、地域との連携を深め、地域とともにある学校づくりを進める必要がある。</li> <li>○ 保護者、地域への情報発信は学校ホームページで行っているが、学校情報等について更に、適切に発信できるよう更新の必要がある。</li> </ul>	○保護者や地域から信頼される開かれた学校を目指す。	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 学部ごとに、交流学習や地域での活動を計画実施していく。</li> <li>② 学校ホームページのリニューアルを行い、必要な情報を発信できる環境を整える。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 学部ごとに、地域と関わる活動を実施することができたか。</li> <li>② 学校ホームページのリニューアルを行い、児童生徒の活動の様子について、年間総数150回以上更新することができたか。</li> </ol>				
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校防災マニュアルの見直しを行い、実際に想定した訓練の実施を行う必要がある。また、防災教育についても、年間指導計画に位置付け実施し、防災教育を進める必要がある。</li> <li>○ 児童生徒、教員での防災訓練等は実施している。今後、家庭、地域と協力した訓練について取り組む必要がある。</li> <li>○ ストレスチェックにおける結果からも、職場環境はおおむね良好である。引き続き風通しのよい職場の環境づくりを推進するとともに、不祥事防止研修プログラムを活用し、当事者意識を持てる研修を行い、事故防止の意識を高める。</li> </ul>	○安心・安全な学習環境づくりの推進	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校防災マニュアルの見直しを行い、見直した点については、教職員で共通理解できる場を設定するとともに、児童生徒についても計画的な学習を行う。</li> <li>② PTAと連携し、備蓄品の確認を行うとともに、災害時の対応について家庭と協力した防災教育を進める。</li> <li>③ 教職員が健康で働ける環境づくりを進めるとともに、不祥事防止研修マニュアルや体罰防止マニュアルを活用し、月1回のN字型研修を実施する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 防災マニュアルの見直しを行い、教職員で共通理解をすることができたか、また、防災教育について、年間指導計画に位置付け計画的に実施することができたか。</li> <li>② 家庭と連携した防災教育に取り組むことができたか。（災害伝言ダイヤルの活用）</li> <li>② 教職員がチームとして仕事に取り組み、結束力を持ち、健康で働ける環境づくりができたか。また、不祥事防止につなげることができたか。</li> </ol>				